



今年の梅雨明けは、京都で知りました。神宮寺学ぶ会の皆様とお大師様の誕生法要を参拝する為に上洛していた時でした。梅雨空の京都から明けた沖繩に戻ると、南国特有の生暖かい空気に安心しました。京都も良いですが、沖繩も良いです。

## 降誕会

良啓

先月、京都東寺で行われるお大師様の誕生法要に団体参拝をしました。去年の高野山に続き二回目の団参です。今年も、広い京都を回る為、一日一寺と決め、じっくり見ることにしました。

一日目は、嵯峨野にある大覚寺門跡へ。非公開の特別室でお茶とお菓子の接待を受け、優雅な中庭に心が洗われ、数時間前までの沖繩の日常と違う雰囲気に参加者全員、感動しました。

二日目は、お目当ての東寺へ。京都のシンボル五重塔が視界に入ると、大歓声が上がりました。法要では三十名余りの僧侶による声明（仏教讃美歌）に夢見心地となり、私一押しのお兜毘沙門天やお大師様の念持仏不動明王の伝説に聞き入りました。

三日目は、滋賀県の石山寺へ。勅封（天皇の命令で閉じている）の如意輪観音の三十三年に一度の御開帳と言う事で朝から楽しみにしていました。ちょうど、参拝者も少ない時間帯でしたので、手が届く距離まで寄り、じっくりと拝み、堪能してきました。

また、寺参りだけでなく、夕食は祇園や宮川町の風情のある界限で伝統の京料理を味わい、街中で舞妓さんと遭遇し、本当に有意義な三日間でした。

今回、現地の方に説明や案内して頂く機会があり、それが良い体験となりました。観光とは、観る聞くだけでなく、更に踏み込んで体験する事が素晴らしいと感じる旅でした。今回関わった皆様に仏様のご加護があります様に。



石山寺山門

## 新連載

### 十三仏 ① 不動明王

裕俊

今月号より、皆様が仏教により親しみを持つていただけよう、さまざまな仏様をご紹介させて頂きます。十三仏とは、初七日忌から三十三回忌の法事（追善供養）を司る仏様のことです。今回は、初七日忌の本尊「不動明王様」をご紹介します。

## ご真言

のうまくさんまんだ

ばざらだんかん

又は

のうまくさんまんだ ばざらだん せんだ

まかろしやだ そはたや うんたらた かんまん



不動明王様は、悪魔を下し、仏道に導きがたいものを畏怖させ、煩惱を打ち砕く仏様です。

まず、左手のけんさく絹索で悪の心を縛り上げ、右手の利剣で

迷いや悪の心を断ち切ります。そして、背のかるらえん迦楼羅焰で毒になり得るものを燃やし尽くし、悟りに向かっていない者の煩惱を消滅させ、最後には垂らした髪で救い上げてくださります。一見とても怖そうですが、仏の道に入ったばかりの衆生の迷いを断ち切り、仏の道を歩む事に専念できるよう、導いてくださる仏様なのです。